

2026年4月23日

各 位

**Solana 上の次世代 DeFi プラットフォーム「Kainos (カインス)」の  
提供開始に関するお知らせ**

～無期限先物取引・LP・ゲーミフィケーションの統合により、  
トークンエコシステムの流動性を一点集約～

当社が技術開発支援等を行う Solana 上の次世代 DeFi プラットフォーム「Kainos (カインス)」が、2026年4月24日より提供開始されることをお知らせいたします。

**1. 本プラットフォーム開発支援の背景**

当社は、2025年2月19日付「長期ビジョン・中期経営計画」において、「ミーム×RWafi」を中核とした独自エコシステムの構築を掲げております。

このエコシステムを実現するためには、トークンの取引・流動性供給・コミュニティエンゲージメントが個別に分散するのではなく、一つのプラットフォームに統合され、エコシステム全体の流動性が一点に集約される仕組みが不可欠であるとの認識に至りました。

Kainos は、この構想を実現するため、Solana ブロックチェーン上に独自のオンチェーンインフラを構築した次世代 DeFi プラットフォームとして開発されたものです。独自のオーダーブックによるエコシステム固有銘柄の取引に加え、外部流動性との連携により主要暗号資産の取引にも対応し、幅広いユーザー層の流動性を集約する設計となっております。

**2. サービス概要**

Kainos は、分散型金融 (DeFi) における複数の取引機能を統合した次世代プラットフォームです。Solana ブロックチェーン上に独自のオンチェーンオーダーブックを実装し、無期限先物取引をはじめとする多様な金融・エンターテインメント機能を一つのインターフェースから提供いたします。

Kainos URL : <https://kainos.fi>

**3. 主要機能**

### (1) パーペチュアル取引（無期限先物取引）

USDC 建てによるレバレッジ取引機能を提供いたします。Solana ブロックチェーン上に独自のオンチェーン中央指値注文板（CLOB）を構築し、指値注文・成行注文に対応しております。独自のマーケットメイキングシステムおよびリスク管理機構を実装し、ファンディングレートによる市場均衡メカニズムを備えております。

対応マーケットは以下のとおりです。

- **独自オーダーブック対応（最大 2 倍レバレッジ）**：  
GYAN BLUE (\$NYAN) / USDC、Wowbit (WWB) / USDC
- **外部流動性連携対応（最大 50 倍レバレッジ）**：  
SOL / USDC、BTC / USDC、ETH / USDC、BONK / USDC、WIF / USDC、JUP / USDC、  
ORCA / USDC、RAY / USDC、JTO / USDC、PYTH / USDC

### (2) 流動性提供（Earn）機能

ユーザーがプラットフォームの流動性プールに資産を提供し、取引手数料の一部を収益として獲得できる仕組みを提供いたします。

### (3) ゲーミフィケーション機能

価格予測ミニゲーム（Tap Trading）や、ユーザー同士の 1 対 1 予測バトル（1v1 Battle）など、取引以外のエンゲージメント機能を統合し、プラットフォームの利用促進を図っております。

## 4. サービスの特長

項目	内容
対応チェーン	Solana
取引通貨	USDC
対応マーケット	NYAN、WWB（独自 CLOB） + SOL、BTC、ETH 他 7 銘柄（外部流動性連携）
注文方式	オンチェーン中央指値注文板（CLOB）：指値・成行対応
ウォレット	Phantom、Solflare 等 Solana 対応ウォレット
サービス設計	ノンカस्टディ（非保管型）
ファンディングレート	約 1 時間間隔で自動精算

## 5. 事業体制および当社の立ち位置

本プロダクトの事業主体は、アラブ首長国連邦（ドバイ）に所在する法人（以下「ドバイ法人」）であり、当社は当該ドバイ法人との間で締結した匿名組合契約に基づき、本プロダクトに関与しております。なお、ドバイ法人及び匿名組合契約に関する情報等の開示に関しては、相手先のご意向により非開示となります。

当社は、ドバイ法人に対し、技術開発に関する支援、ビジネスデベロップメント支援、マーケティングおよびエコシステム拡張支援を行う立場にあり、本プロダクトの運営主体ではありません。

また、本プロダクトは、当社が日本国内において暗号資産交換業を営むものではなく、資金決済法上の暗号資産交換業には該当いたしません。

## 6. β 版リリースおよび段階的展開

本サービスは、安全性確保の観点から、以下の段階的展開を予定しております。

Phase 1（本リリース）	取引上限を設定したβ版としての提供開始。 初期段階では1取引あたりの上限額を設定し、サービスの安定性を検証いたします。
Phase 2	検証結果を踏まえた取引上限の段階的引き上げおよび追加機能の実装。
Phase 3	正式版リリースおよび対応トークンの拡充。

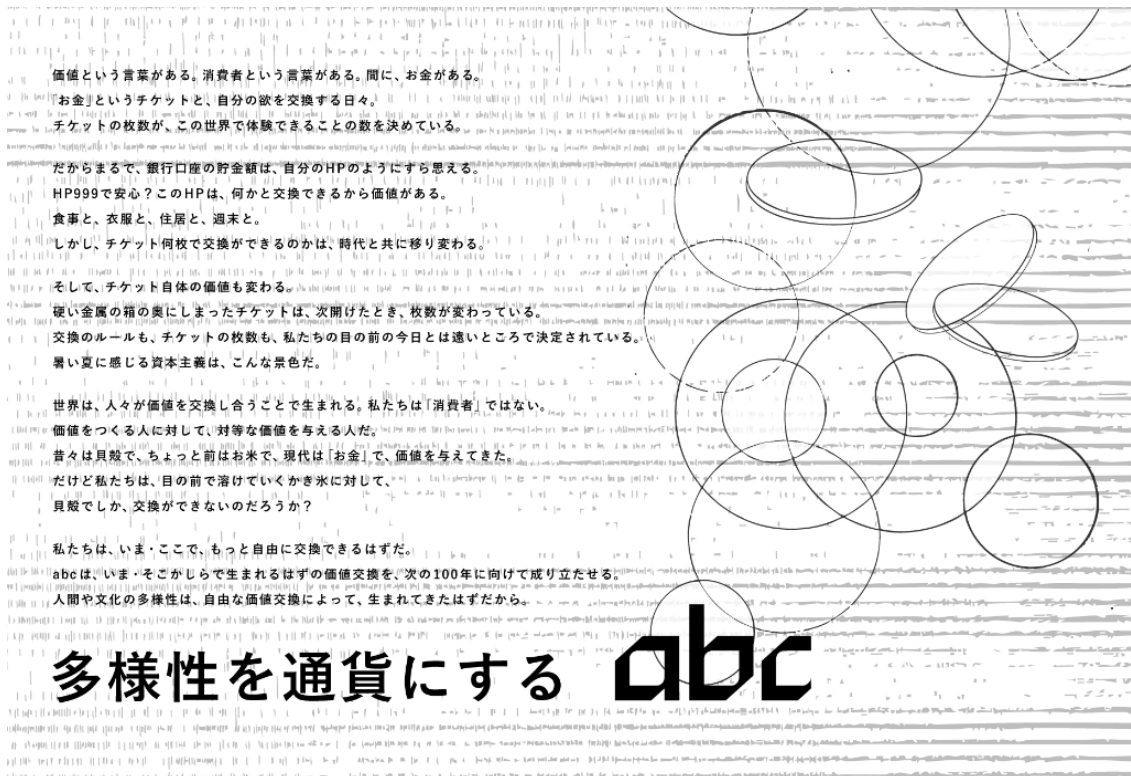
## 7. 今後の展開

Kainos プラットフォーム上において、追加サービスの開発が進められております。詳細につきましては、決定次第お知らせいたします。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。



価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。  
「お金」というチケットと、自分の欲を交換する日々。  
チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。  
だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。  
HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。  
食事と、衣服と、住居と、週末と。  
しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。  
そして、チケット自体の価値も変わる。  
硬い金属の箱にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。  
交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前の今日とは遠いところで決定されている。  
暑い夏に感じる資本主義は、こんな景色だ。  
世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。  
価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。  
昔々は貝殻で、ちょっと前はお米で、現代は「お金」で、価値を与えてきた。  
だけど私たちは、目の前で溶けていくかき米に対して、  
貝殻でしか、交換ができないだろうか？  
私たちは、いま・ここで、もっと自由に交換できるはずだ。  
abcは、いま・ここから生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。  
人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

## 多様性を通貨にする abc

### ■ abc 株式会社について <https://abc-chain.com/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenized by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファン等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

[pr@abc-chain.com](mailto:pr@abc-chain.com)

以上